

(写真) CNE ”全国市長選の選挙結果、赤色が与党、紺色が主要野党・黄色が穏健野党、水色がその他”

ベネズエラの市長選分析

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

1 1月21日 ベネズエラで全国州知事選・市長選が行われた。

今回の選挙は4年ぶりに主要野党が選挙に参加。EU監視団も現地で選挙運営を監視する中で行われた。

今回は、全国市長選の結果を確認、分析したい。

なお、州知事選の詳細については前号「[ウィークリーレポート No. 227](#)」を参照されたい。

市長選は野党も善戦

州知事選については、全国23州中19州で与党候補が当選、3州(スリア州、ヌエバエスパルタ州、コヘーデス州)で野党候補が当選した(バリナス州のみ未確定)。

与党が圧勝したと言える結果だが、市長選は州知事選ほど与野党の当選者数に大きな差は付いていない。

筆者が「選挙管理委員会(CNE)」が公表した結果を精査したところ、全国335市のうち211市で与党候補が当選、120市で野党候補が当選、4市でどのグループにも属さない候補が当選したと考えている。

表： 2021年11月市長選挙当選者

州名	与党	野党 合計	野党			その他
			主要	穏健	独立	
全国	211	120	63	42	15	4
リベルタドール市	1	0	0	0	0	0
アマゾナス州	5	1	1	0	0	1
アラグア州	14	4	1	1	2	0
アプレ州	4	3	3	0	0	0
デルタアマクロ州	4	0	0	0	0	0
ファルコン州	14	11	7	4	0	0
グアリコ州	8	7	0	7	0	0
メリダ州	9	14	10	4	0	0
ヌエバエスパルタ州	5	6	1	3	2	0
スクレ州	13	2	0	2	0	0
タチラ州	13	15	3	12	0	1
トゥルヒージョ州	13	7	3	2	2	0
アンソアテギ州	17	4	1	3	0	0
コヘーデス州	3	6	6	0	0	0
ミランダ州	15	6	0	0	6	0
ポルトゥゲサ州	10	4	2	2	0	0
バルガス州	1	0	0	0	0	0
ヤラクイ州	14	0	0	0	0	0
スリア州	6	14	14	0	0	1
カラボボ州	12	2	1	0	1	0
バリナス州	5	7	6	1	0	0
ポリバル州	9	2	1	1	0	0
モナガス州	9	3	2	0	1	1
ララ州	7	2	1	0	1	0

野党は、グアイド政権率いる「主要野党」と、ファルコン AP 党首率いる「穏健野党」、マドゥロ政権との政治的な対立を極力避け実務に注力する「独立野党」の3グループが存在する。

野党候補の当選者内訳は、
 主要野党が63名
 穏健野党が42名
 独立野党が15名
 となっている。

なお、穏健野党、独立野党、無所属の分類は難しく、情報ソースによっては、数字が微妙に異なっている場合がある。

335市全ての当選者情報詳細については「[表：2021年全国市長選挙 各州・各市の与野党得票率](#)」を参照されたい。

(出所) CNEの公開情報を元にベネインベストメント社作成

野党共闘して与党と互角か

全ての市長選の結果を見ていくつか分かったことがあるので所感を記載したい。

1つ目は、野党はグループ毎に強い地域が存在するという点。

「主要野党」は、スリア州で与党を含めて他のグループを圧倒している。スリア州は主要野党のマニユエル・ロサレス新時代党党首が知事に当選した。

元々、スリア州は主要野党の拠点とされていたが、ここ数年は与党に支配されていた。今回の選挙でスリア州が野党の元に帰ってきたと言えそうだ。

「穏健野党」は、タチラ州で多くの市長を当選させた。また、グアリコ州でも善戦しており、首都よりも地方に強いグループと言える。

「穏健野党」の中でも特に票を集める力が強い政党は、「行動民主党(AD)」と「キリスト教社会党(Copei)」。

ADは分裂しており、現在主要野党と穏健野党にADが存在する。穏健野党のADは、2020年12月に行われた国会議員選に参加した側のAD。

穏健野党側のADは偽物と報じられているが、十分多くの票を集めており、偽物との認識は改めた方が良さそうだ。Copeiも分裂しており、穏健野党側のCopeiは偽物と報じられているが、投票結果を見る限り、穏健野党側のCopeiも偽物との認識は改めた方が良さそうだ。

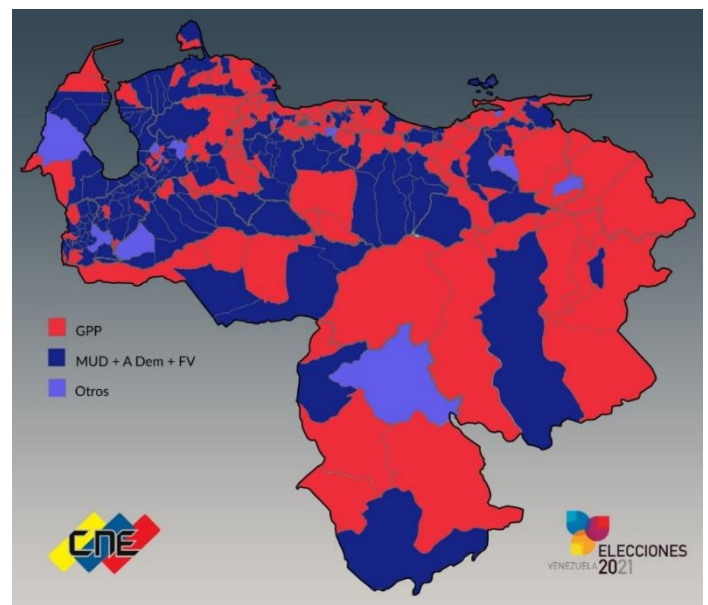
独立野党は、ミランダ州で圧倒的に強いが、その他の地域ではそれほどではない。独立野党は発足して2、3年しか経っていない若いグループで全国的な組織になるのはもう少し時間がかかるようだ。

与党は、どの地域でも強い。

与党が弱い地域というのは基本的になく、どの州でも一定数の票を集めている。20年以上、政権を維持し、票を集める体制が出来上がっているということだろう。

この体制を変えるのは容易ではない。前号「[ウィークリーレポート No.227](#)」でも触れたが、主要野党・穏健野党・独立野党が共闘しなければ与党に太刀打ちするのは難しい。

なお、下図は主要野党・穏健野党・独立野党が統一候補を擁立した場合の図。赤色が与党、青色が共闘野党の候補が当選する地域。色としてはだいたい半分になる印象だ。



(写真) @frrodriguez

チャカオ市は野党支持者の巣窟

最後に多くの日本企業が拠点を構えるチャカオ市の市長選結果について紹介したい。

チャカオ市は、独立野党「隣人の力 (FV)」のグスタボ・ドゥケ市長が再選した。










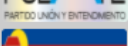





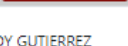

ドゥケ市長の得票率は72.83%、2番目は与党候補で得票率は20.8%。チャカオ市はドゥケ市長の圧勝だった。

ここまで野党候補が与党候補を圧倒している市は全国で他にない。

チャカオ市に住んでいると、ベネズエラ人は野党支持者ばかりかと思ってしまうが、チャカオ市は特殊な場所で、チャカオ市民の考えはベネズエラの一般大衆の考えとはかなり異なっているという点は頭の片隅に置いておいても良さそうだ。

以上

ALCALDE O ALCALDESA DEL MUNICIPIO CHACAO, ESTADO MIRANDA (Ver Renuncias)

CANDIDATOS	VOTOS	PORCENTAJE
 DUQUE GUSTAVO (Ajudicado)	16,915	72.83%
 FUERZA VECINAL	13,355	57.5%
 MUD Unidad	2,905	12.51%
 UNIDAD	369	1.59%
 LÁPIZ	78	0.34%
 UNIÓN PROGRESO	42	0.18%
 MASY	36	0.15%
 ECOLOGICO	30	0.13%
 MR MOVIMIENTO REPUBLICANO	21	0.09%
 PUEBLO UNIÓN Y ENTENDIMIENTO	18	0.08%
 UN NUEVO TIEMPO	15	0.06%
 Visión Futuro Miranda	15	0.06%
 UPP89	11	0.05%
 centrados	8	0.03%
 PAM PARTIDO DE ACCIÓN MIRANDINO	7	0.03%
 CONVERGENCIA	5	0.02%
 FREDDY GUTIERREZ	4,663	20.06%